

# トータル保険だより

## 2014年10月号



(有)トータル保険がみなさんにお届けするニュースレターです。

《発行元》

有限会社トータル保険

平成26年10月1日 第222号

〒997-0853 鶴岡市小淀川色田69-28

TEL:0235-25-1315 FAX:0235-25-1064

URL: <http://total-hoken.net/>

## 母と子

### 強くなります

「息子を返してください！」ある日、私のもとに強い口調で抗議の電話が入りました。それは、高校二年生の息子の友人、道夫君の母親からでした。突然のことに私は最初事情が飲み込めませんでした。「おたくの息子さんと付き合うようになって、うちの子はとんでもない不良になった」と、道夫君の母親の京子さんはそう言いました。確かに道夫君は毎日のように息子のもとに遊びに来ていましたが、それが不良になることと、どう関係しているのか分かりませんでした。でも、私には京子さんの尋常ではない憤りが、孤独な心の叫びのように感じられたのです。私は京子さんと、会って話し合うことにしました。私は、興奮させめやらぬ様子の京子さんの話を、最後まで黙って聞かせてもらおうと思いました。京子さんによれば、道夫君は幼いころから、一流大学を目指して、学校から帰宅後は勉強の日だったそうです。それが、ご主人の転勤の都合から現在地に引越越してきて、息子たちと知り合ったことで帰宅が遅くなり、勉強もしなくなつたというのです。今、子どもには大学受験が一番大事だと語る京子さんにとって、仲間との時間を優

先する道夫君と、彼を誘う息子たちは許せなかつたのでしよう。ひとしきり話し終えた京子さんに、私は尋ねてみました。「将来のために勉強して良い大学へ入ることは確かに大切なことでしょう。でも、多感な時期に仲間との人間関係が築けなければ、孤独な大人になってしまうかもしれない。それは、道夫君にとつて幸せと言えるでしょうか。」その言葉に、京子さんはしばし黙り込みました。そして、せきを切つたように胸の内を語り出したのです。知人のいない見知らぬ土地で、突然親の言うことを聞かなくなった息子に戸惑いながらも、仕事で多忙な夫には頼ることもできず、この先どうすれば良いのか分からなくなつてしまつたというのです。私は、京子さんを息子の部屋に案内しました。部屋の前まで来ると、中から子どもたちのにぎやかな話し声が聞こえてきました。「道夫のこんな楽しそうな声を聞いたのは初めてかもしれない。」京子さんはぼつりとそう言い、「息子のことをお願いします」と言つて、帰って行きました。その後、ご主人を交えて道夫君の将来について家族で話し合い、大学受験も本人の意志を尊重することにしたとのことでした。そして、京子さんは、「母親として強くなります」と、明るい声で言ってくれました。



## 素早い対応と

### 信頼感ですね!

鶴岡市外内島在住 五戸様

トータル保険さんとは20年以上のお付き合いになります。「火災保険」が最初で、家族の「生命保険」の全部をお任せしています。

何年か前にはタイミングよく「医療保険」を提案して下さい、提案通り加入したその後、保険のありがたさを本当に実感させられる出来事がありました。

勧められたあの時が本当にベストのタイミングでした。早く決めて良かったと思います。

その時々々の社会の変化や私たち家族の状況にあったお話をしてくれているので、本当に安心して生活を送っています。



「平均寿命」より「健康寿命」が大切  
 生涯のうち、日常生活で支援や介護を必要とせず、自立して生活できる期間を『健康寿命』といいます。

日本人の健康寿命は男性70・42歳、女性73・62歳（平成22年調査）。つまりこの年齢以降、10年前後は健康上の問題で生活が制限され、介護が必要な時期となります。健康寿命をのばす＝不健康期間を短縮することが大切です。

健康寿命を縮める原因

日本人の健康寿命を縮める原因の一つにロコモティブシンドローム（運動器症候群）があげられます。骨や筋肉、関節など運動器の働きが衰えることで自立度が低下し、介護が必要となった、寝たきりになる可能性が高まります。この状態がロコモです。

ロコモの要因は、骨粗しょう症や骨粗しょう症による骨折、変形性関節症や関節炎による下肢の関節機能障害などいわれています。骨・筋肉・関節を丈夫にし、いつまでも滑らかな動きをすることが健康長寿の基本といえます。もしひとつでも当てはまれば、ロコモの可能性があります。

- 掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど家のやや重い仕事が困難である
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 階段を上るのに手すりが必要
- 片足立ちで靴下がはけない
- 2kg程度の重い物をして持ち帰るのが困難（1ℓの牛乳パック2個程度）
- 15分続けて歩けない



◆営業時間

朝9時から夜7時まで

◆お手伝いできること

- ・家計の見直し（生命保険・火災・自動車保険全般）
- ・住宅ローンアドバイス、ライフプラン作成、遺言アドバイス
- ・相続アドバイス（生命保険の活用含む）

◆主な資格

ファイナンシャルプランナー（AFP）  
 認定保険代理士  
 相続診断士



サラリーマン川柳

日本全国三〇、四九〇句の中から選ばれた優秀100句。第26回サラ川を彩る傑作の数々をご紹介します。今回は5作をご紹介します。

- ① 妻と子に 話しかけたが 独り言
- ② タニタより 我が家の食事 低カロリー
- ③ 部下にオイ 孫にホイホイ 妻にハイ
- ④ フライイング ゲットしちゃった 退職金
- ⑤ 孫が来て 急に良くなる 夫婦仲



えふぴーカフェ:暮らしに役立つミニ情報



10月17日は貯蓄の日（1952年、日本銀行が勤労の収穫物で

あるお金を無駄遣いせずに大切にしようという意味を含め制定した記念日）です。

近年、預貯金の金利が低くて投資にまわしたいという方が増えています。とはいえ、元本が減るリスクもある投資を始めるためには、余裕資金を確実にすることが大切です。

では、どのようにしたら余裕資金をつくれるのかを考えてみましょう。

特にお金を貯めるのが苦手という方は実践してみましょう！

まずは家計簿をしっかりとつけて使途不明金を炙り出すことが大切です。次に、『毎月の収支の残りを貯める！』という考えから『今月は〇〇円貯めたいので△△は我慢しよう！』という考えに変えると良いと思います。それだけでも十分効果はあると思いますが更に踏み込んで、『複雑で分かりづらい携帯電話の契約形態の見直し』や『生命保険の見直し』などで過剰な部分を削れば毎月の固定費負担を我慢しなくても軽減することができるかもしれません。もちろん個人差はありますが、その成果を貯蓄にまわしましょう！

コツコツ蓄えたお金に働いてもらい、将来「実りの秋」ならぬ「実りの老後」として豊かな生活ができることを目標に、この時期に貯蓄計画を作成されてみてはいかがでしょうか。

（ファイナンシャルプランナー・相続診断士 大川 淳）